

発行所 埼玉県南埼玉郡 越谷町役場企画室
電話 越谷42, 517, 519, 522番

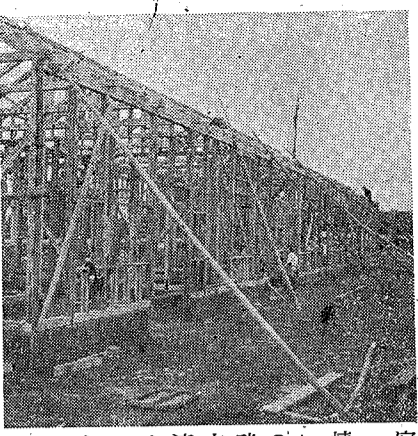
日	月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		

一行事...
一日 歳末特別貯蓄運動(末日まで)
二日 人権週間(十日まで)
三日 社会福祉週間(十二日まで)
四日 年賀電報取扱開始
五日 年賀郵便特別取扱(廿八日まで)
六日 皇太子誕生
七日 クリスマス

東中學校 第一期 工事進む

廿三日に管理室上棟

既報、東中學校の第一期建設工によって順調に進められており、先には九三万円の落札決定が、去る廿三日には管理室(職員、応接、放送、使丁宿直などの各室)一棟百五坪の上棟をみるに至り、いま東中學校建設の楯音は元荒川河畔にエダマシ一月末竣功をめざして連日突貫工事が進められております(写真は上棟した東中學校管理室)



東中學校第一期建設の楯音は元荒川河畔にエダマシ一月末竣功をめざして連日突貫工事が進められております(写真は上棟した東中學校管理室)

家屋の異動は申告しなればならないこと

家屋台帳は昭和廿五年七月まで税務署に備え、家屋税法によつて家屋の異動は、申告や実地調査により常に整理してあります。昭和廿五年八月からこの家屋台帳は登記所に移管され、従つて家屋が異動した場合は、登記所がその異動がある場合、登記所から一月以内に登記所が支障をきたす恐れがある場合は、登記所に家屋台帳を提出する必要があります。

役場事務課では納税完納強調月間

役場事務課では納税完納強調月間を定め、全職員あげて納税の進捗をはかることになりました。年末をひかえ何かと出費の多い時です、町民おたがいが出来るだけ新生活にそなうて無駄をはぶき、私達の義務である納税完納に一層の協力をねがひたいとします(税務課)

納税完納強調月間 十一月十五日より

十一月十五日より十二月十五日まで

役場人事異動

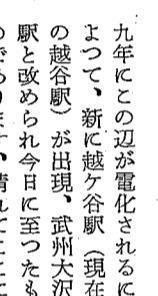
採用(十月一日付) 清掃員東浦一郎(十月六日付) 同遠藤留吉(十一月一日付) 同清水源次郎(十一月五日付) 同加藤道之助(十一月十三日付) 同那倉政雄(以上厚生課勤務)

一日から「北越谷駅」に改め

待望の路線延長なる

東武線大澤驛

浅草-越谷間折返し各駅停車路線を大沢駅まで延長する運動は昭和廿九年十一月越谷町合併を期し、関係住民の熱望と相まつて強力に東武鉄道へ再三陳情されておりました。大沢駅は当時



浅草-越谷間折返し各駅停車路線を大沢駅まで延長する運動は昭和廿九年十一月越谷町合併を期し、関係住民の熱望と相まつて強力に東武鉄道へ再三陳情されておりました。大沢駅は当時

近頃町消防団査閲

恒例の消防団査閲が来る五日頃恒例の消防団査閲が来る五日頃恒例の消防団査閲が来る五日頃

焼いて泣くより、笑って用心

人の用心 焼いて泣くより、笑って用心

あちらこちら

宿願古利根架橋近く成る 渡船船橋木氏に同情

昭和卅一年十一月菊花薫るの秋、古利根川架橋ついに実現しました。おもえば二十有余年前、時の人大松の長野晴氏(今は故人)等、時の有識者相はかり、この架橋は将来重要なものと感じ、対岸松伏村(当時)に数回にわたり交渉する一方、遠く野田町(当時) 番油会社に後援の交渉を進め、着々その実現へと働きかけられておりました。これを見るにただただ感激しておる状況であります。この架橋によつて今後における地方発展は又見るべきあるものと思ひます。これひとえに町長殿の郷土愛の賜であるは勿論、議会議員方々の協力一致による町民愛の発露と、返す返すも感謝の

越谷交通安全協会

「協会だより」発行

自動車運転免許者を会員とする、当町交通安全協会(会長 篠田好蔵氏)では、運転車の

休電予定日速報

十一月十一日(日)変電所工事のため休電する予定でありました。が、次の通り延期することになりましたのでお知らせいたします。

町立秋中井戸掘直し

工費十五万四千円

供米代金は 予算をたてて

今年も米の出荷期になりました。農家皆さんの汗と努力の結果である米代金は計画的に使ひましよう。農家はサラリマンなどとはちがひ毎月きまつた収入はありませんが、一時にはいつたお金も気が許して使つてしまつて、あとで困ります。そこで米代金は、はじめから予算を立て、肥料代にはいくら、税金にはいくら、毎月の生活費にはいくら、というように割振つておき、実際必要となるときまで貯金しておきましよう。貯金通帳が家計簿の役目をするわけで、ムダなお金が使へます。

またこの農家でも主人は牛を買いたいとか、主婦は台所を使いやすくしたいとか、子供は自転車をはしりた、いろいろな希望があらましよう。こうした希望を実現するために貯金をするのにも楽しいことです。最初からあまり大きな目的を抱いても、貯金するのには骨が折れ、根気がつきません。短かい期間で無理なくできるものからはじめましよう。手近かな小さいことでも、自分の力で実現できたらその喜びはどんなでしよう。そういう楽しい貯金を今からはじめましよう(明るい農村から)

△参考書三冊(絶対物理・絶対日本史) 七四〇円

△辞典四冊(日本文法辞典国語(註) 差引残金一〇〇円は雑収文語の二冊・詳解漢和辞典 入寄付金として繰入れてあります) 一五〇〇円 計四、八九〇円

△英辞書大辞典

△英辞書大辞典

綴じて御保存下さい

